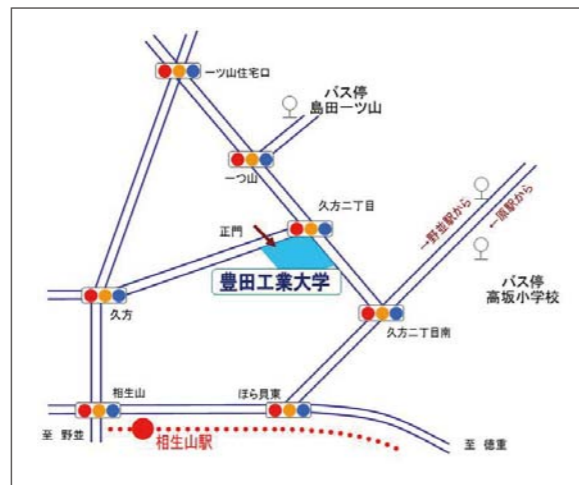
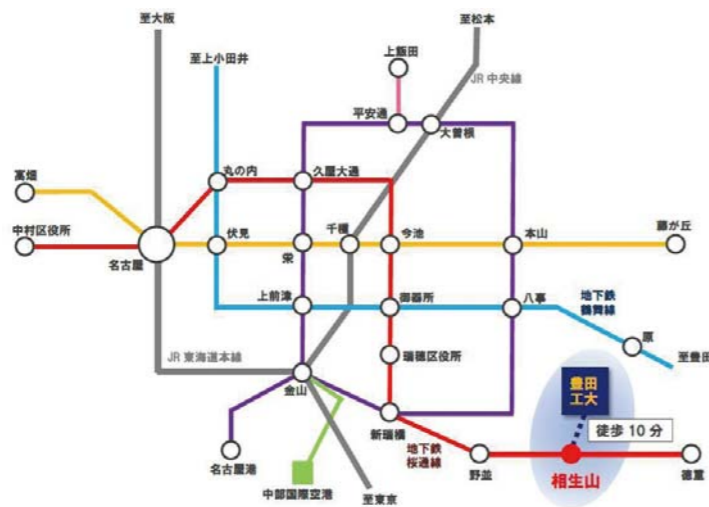


ACCESS

※地下鉄桜通線相生山駅下車 徒歩10分



学校法人トヨタ学園

豊田工業大学

TOYOTA TECHNOLOGICAL INSTITUTE

〒468-8511 名古屋市天白区久方二丁目12-1

TEL 052-802-1111 FAX 052-809-1721

<http://www.toyota-ti.ac.jp>



平成22年度「大学生の就業力育成支援事業」
企業と創る自立型人材育成プログラム

成果報告書



学校法人トヨタ学園

豊田工業大学

TOYOTA TECHNOLOGICAL INSTITUTE



平成22年度「大学生の就業力育成支援事業」
企業と創る自立型人材育成プログラム

成果報告書

目次

ご挨拶

学長挨拶	1
事業推進責任者挨拶	1

取り組み状況

就業力育成科目 平成23年度開講「工学スタートアップセミナー」	2
キャリア形成サポート	3
学生ポートフォリオ	4
産学就業力向上委員会	5
取り組みホームページの立ち上げ・パンフレットの作成	5
次年度の取り組み	5

ご挨拶



学長
榊 裕之

学長挨拶

本学では平成22年度から文部科学省の御支援の下で、「大学生の就業力育成支援事業」を開始しました。「就業力」というと、学生の人間的な側面を意味することが多いですが、本学の「企業と創る自立型人材育成プログラム」においては、これに「技術者・研究者」として活躍するために必要な基礎学力と創造的な応用力や実践力を加えた、「産業人として自立できる総合的基礎力を備えた人材」の育成を目指しています。平成22年度には、企業や卒業生の協力を得て基礎的学習と現代技術のつながりを把握させる講義を実施する「就業力育成科目」の企画と開講準備をすすめました。特に平成23年4月から開講する『工学スタートアップセミナー』では、基礎的学習に取組む新入生の学習意欲を高めるために、工学への導入教育やキャリア教育もバランスよく配置することで、これから本格的に工学を学び、就業力を身に付けようとする学生が大学での学びをスタートするのにふさわしい内容としています。

平成23年度からの本格的なプログラムの推進に向けて、当初計画に沿って活動を着実にすすめております。ここに取組みの内容と成果をご報告し、本プログラムへのますますのご支援をお願い申し上げます。



事業推進責任者
教授 齋藤 和也

事業推進責任者挨拶

ここに、文部科学省「大学生の就業力育成支援事業」に採択されました「企業と創る自立型人材育成プログラム」の平成22年度成果報告書をお届けいたします。

22年度は本プログラムの初年度ということもあり、就業力育成科目は準備の段階でしたが、産学就業力向上委員会の開催、キャリア形成サポート体制の構築、学生ポートフォリオの開発等、計画に沿って順調に進めました。

第1回産学就業力向上委員会では、参加企業から本プログラムへの貴重な助言を多々いただくことができました。その中のひとつに、「『就業力』とは、積極的に仕事に係わり、世の中に何らかの貢献をしたいと思う、その意気込み、精神力である」とのご意見がありました。確かに、現在の学生の多くは、指示されたことは手際よくこなすものの、自分から積極的に行動しない傾向が顕著になっているように思います。新しい価値を創造していく意欲と実力を養成するための創造性開発プログラムをカリキュラムに取り入れ、学生の就業力向上につなげたいと検討を進めています。

また、キャリアコーディネーターによる講演会開催、キャリア教育支援窓口の開設等を行い、学内における教員とキャリアコーディネーターとの協同を目指したネットワークの構築をすすめました。23年度からスタートする学生ポートフォリオが加わることで、大学全体が一体となって、学生のさらなる就業力向上を目指します。

教職員一同、全力をあげて本プログラムの遂行に当たる所存です。皆様には、ますますのご支援を賜りたくお願い申し上げます。

👉 取り組み状況

就業力育成科目 平成23年度開講「工学スタートアップセミナー」

本科目のねらいとテーマ設定

本科目では、本学教員が最先端研究紹介を通じて“工学に対する夢を育む”ことをねらいとしています。このねらいを踏まえた6つのテーマを設定し、“工学を通じて就業力を醸成する”ための円滑なスタートを切ることを目指します。

1. 建学の精神 (=豊田佐吉の精神) について学ぶ。
2. 日本の産業界が置かれている厳しい現実を認識する。
3. 発想や工夫を積極的に社会貢献や理想社会の実現に活かそうとする意欲を学ぶ。
4. 大学での勉強方法、および、工学の方法論について学ぶ。
5. 本学の先端研究について学び、将来専攻する研究分野について考える契機とする。また、基礎的な学術と現代技術との相互関連に気づき、先端技術における課題を解決するためには、多くの学術要素や技術要素を統合化することが必要であることを理解する。
6. 社会人基礎力を理解し、卒業後の将来を見据えた大学4年間の学習/生活目標を明確にする。また、卒業後の進路についてのイメージを描けるようにする(キャリアプランニング)。

シラバスの検討

テーマごとに講義内容を検討し、つぎのような講義内容としています。

1. 「トヨタテクノミュージアム産業技術記念館」見学
2. 経済産業省「産業構造ビジョン」を題材とした現状認識
3. TTIイノベーション・コンテストの開催
4. 大学での勉強方法および工学の方法論の概説
5. 本学研究紹介講義およびオープンラボ
6. キャリアコーディネーターによる社会人基礎力講座とキャリア計画の作成

教材

授業回ごとの目的に合わせた「工学スタートアップセミナー」専用の教材を活用します。

オリジナルのテキストや本学の研究活動を新入学生に分かりやすく伝える工夫を凝らした研究紹介資料などを準備。また、キャリア計画作成のための「キャリア年間計画表」を設定。来るべき就職活動につながる仕組みとなっており、自分自身で求められる就業力を意識しながらキャリア計画を策定します。



キャリア形成サポート

① 第1回FD講演会

【日 時】平成23年3月2日(水) 16:20~17:50
 【場 所】豊田工業大学1号館3F本館ホール
 【テーマ】○社会人基礎力が生み出すもの～企業現場からの悲鳴 キャリアセンターで見られる本学の学生傾向より～
 ○キャリアセンター支援の現状～学内における協同を目指した活動状況～
 【講 師】学生キャリアセンター キャリアコーディネーター 田中伸子氏 大山佳子氏(有限会社オフィスパティ)

学生キャリアセンターにおいて把握した本学学生の現状報告をし、内容を教員と共有することによる、より効果的な学生支援をねらいとしました。また、単なる就職対策と誤解されやすい就業力を、より高い学習意欲への橋渡しと位置づけ、全学的に取り組む姿勢をアピールすることもねらいとしました。社会人基礎力については、産業人として自立できる総合的基礎力を具備した卒業生を生み出すという目的に沿って、具体的な解説を加えました。平成23年度新入学生を対象としたキャリア年間計画表に関しては、各項目のねらいについて詳細な説明を加えました。初年次の段階で学修の目標がはっきり定められていることが、躓きの原因となりやすい工学基礎科目への取り組み意欲向上に寄与するという観点から作成したという点を、共通理解として持つことは重要です。オフィスアワーを効果的に運営するためにも、あらかじめねらいを理解していただく機会としました。FD講演会については、シリーズ化した方がより効果的であると考えます。実際に起こっている事例を取り上げ、より具体的な内容にも取り組んでいきます。



② キャリア教育支援窓口

キャリア教育に関する教員へのサポート体制づくりを行っています。

本学においては、他大学と比べ学生数や規模、学修に重きを置く点からしても学生と教員との距離が近いように見受けられます。しかしながら、キャリア教育と専門教育は必ずしも同じ切り口で対応しきれない部分があり、距離の近さがむしろ問題点となる場合も少なからずあります。学生の持つ個性や状況もさまざま、キャリア教育に限って言えば、指導の方法についての正解は見えづらいものでもあります。ここで特に注目したのは、学生を取り巻く困難な状況についての把握です。実際に現われる事象の原因となる部分を探り、対応法については可能な限り複数の提案をすることとしました。今後も積極的に利用できるよう、サポート体制を充実していきます。

③ キャリアコーディネーターニュース

キャリア教育に関する意識共有を積極的にすすめています。

キャリア教育に関しての教員の関心を高めることは、大きな目的の一つです。専門学修が非常に充実している本学においては、キャリア教育についての関心を一層高めることが、就業力育成の体制づくりのポイントの1つであると考えています。産業人として自立できる人材を創出するためには、学生に対しての教員の支援が欠かせないものです。記述にあたっては、特に本学学生の他校生にはない良い点を中心に表すことを心掛けました。また、あえて苦手な点も記し、苦手を得意に変えていく支援の足がかりになることを目指しました。今後も社会情勢にあわせ新鮮な話題を取り入れることで、有用性をさらに高めていきます。また、題材について広く教員からの希望を募り、ニーズに応じていきます。

④ キャリア年間計画表の導入

なりたい自分にステップアップするため、初年次からキャリアプランニングをすすめています。

初年次の学生が意欲を持って学修に望むことは、その後の就業力アップにつながっていくと考えられるため、きっかけとして重要な機会です。1年生に対してのキャリア年間計画表作成に関しては、ねらいをはっきりと定め、学生にとっても指導にあたる教員にとっても意義のあるものとなるよう設計しました。キャリア年間計画表については工学スタートアップセミナーの際、学生向けに詳しく説明を加える予定です。

取り組み状況

学生ポートフォリオ

学生ポートフォリオの援用を通じて、総合的な就業力を備えた、自立型人材の育成を図ります。学習生活における様々な活動について記録し、学生自身がそれを振り返り、また、教員と情報共有をすることができる、キャリア形成管理ツールとして活用します。

ポートフォリオ機能

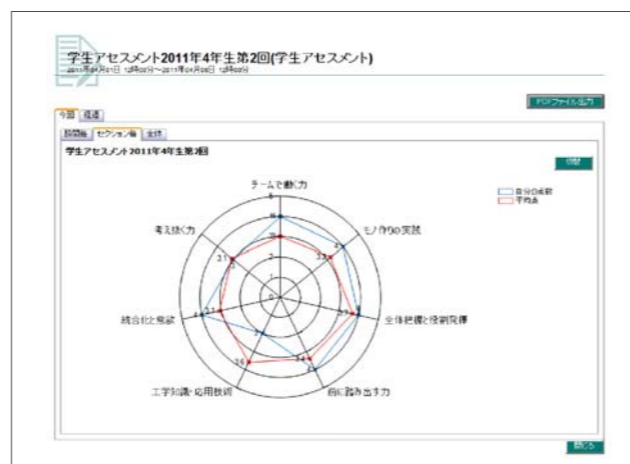
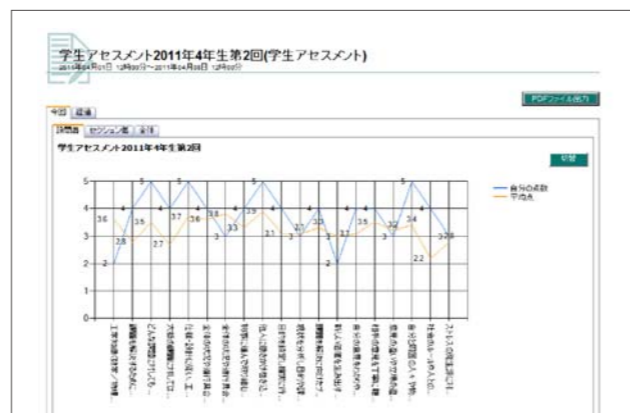
学生が自己の学習や生活について記録・管理するための機能です。特に「キャリア年間計画表」については、1年生から3年生までが毎学期作成・保存・管理し、自身の大学生活を振り返るための“成長記録ノート”の役割を果たしていきます。これは、4年生での進学や就職活動においても大きな役割を果たすと考えています。また、ポートフォリオは担当のアカデミックアドバイザーの閲覧を可能とし、コメントを残すこともできるため、学生と教員のコミュニケーションツールとしても利用可能です。



ポートフォリオ機能のイメージ

アセスメント機能

本学独自に作成したアセスメント項目と社会人基礎力の伸長度を測ることで、学生の就業力醸成を支援します。アセスメント結果については、回答平均値との比較、過去の結果との比較なども確認することができ、現在における自己の成長度合いを客観的に把握することができます。また、本機能で得られる結果は、本取り組みにおいて実践する様々な施策に対する効果測定としても用いることとしています。



アセスメント機能のイメージ

産学就業力向上委員会

産業界が求める人材像の共有、本取組に対する意見、評価等を目的とした「産学就業力向上委員会」の第1回委員会を開催しました。

第1回産学就業力向上委員会

・日時:平成23年3月22日(火)・場所:豊田工業大学1号棟3階本館ホール
 ・参加:住友電気工業(株)、ダイハツ工業(株)、(株)デンソー、(株)豊田自動織機、日本精工(株)、矢崎総業(株) ※名称順

特に、就業力育成科目『現代工学概論(平成24年度開講)』『創造性開発セミナー(平成25年度開講)』については積極的な意見交換がなされました。中でも『現代工学概論』については来年度開講に向けた具体的な議論を行い、講義内容や講師の人材像に至るまで、大変貴重な意見を得ることができました。

主な意見

(1)本学に要望する「就業力」を培うための教育とは？

- 学生が自分に合った仕事を見つける能力を身に付けることができ、卒業後、社会での自立につながる事が重要。
- 論理的思考に基づくコミュニケーション能力
- 基礎学力および仕事への理解、意欲を教える教育
- 「実学の精神」に則った教育

(2)「就業力」を向上させるために産学連携でどのようなことが有効と考えられるか？

- 従来の教育以外に、早い時期から目指す職業・職種や勉強の目標を産学で検討し、本人の研鑽につながる仕組みを構築する。
- インターンシップ等、企業の中で実際に就業体験をするともに、企業人による「業務の中で必要な知識」を聞くことで、大学での勉強と企業活動との関係が理解でき、就業に対する意欲が湧いてくるのではないかと。

(3)就業力育成科目についての意見

- 技術的な部分にとどまらず、デザインやコミュニケーションの要素を含んだ、モノづくりの上流工程から下流工程までを伝えるような講義が望ましい。
- 大学で修得させる知識・技術と企業で求められるスキルをうまくマッチングさせるような機会になるとよいと思う。
- 科目を担当させる講師については、自分が経験したことをきちんと自分の言葉で伝えることができる人材が適切と考える。
- “モノに触れる”ことを積極的に取り入れるべきである。皮膚感覚を養うことに重点を置くことで、産学とは違う本当の理解が得られる。
- また、「創造力」が思い通りのレベルであってはならない。技術者として企画から製品化までストーリーをもって取り組むことが重要である。
- 「自ら考えて行動できる人材」を育てる仕掛けを取り入れてほしい。

今回の委員会で集約した意見については該当の科目や施策へフィードバックし、就業力育成に関する取り組みをさらに充実させていきます。

取り組みホームページの立ち上げ・パンフレットの作成

ホームページやパンフレットを通じ本学の取り組みを広く社会に発信し、本補助事業の普及・公表を行っています。これらを通じて本学の取り組みに関心を持っていただいた他大学からのヒアリングや新聞取材等もあり、情報発信に大きな役割を担っています。今後も積極的な取り組みを続けていきます。



取り組み紹介のホームページおよびパンフレット

次年度の取り組み

平成23年度においては主な取り組みとして以下の内容を実施予定です。

- 就業力育成科目の開講と準備
 - 『工学スタートアップセミナー』開講
 - 『トヨタ生産方式概論』開講
 - 『学外実習Ⅰ事前講義』(課外)開講
 - 『現代工学概論』開講準備(平成24年度開講)
- 学生ポートフォリオ 運用開始
- キャリア教育支援活動
 - (FD講演会、キャリア教育支援窓口等)